

The 111th Congress of
Japan Society of Aesthetic Surgery



第111回 日本美容外科学会

2023年5月11日(木)・12日(金)

グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

会長 池田 欣生 東京皮膚科・形成外科 総院長

副会長 大橋 昌敬 THE CLINIC 統括指導医

美しい未来を作る

—先人から学び、未来へ繋げる—

美容外科

演題募集期間

2022年10月19日(水)～11月30日(水)

<http://jsas111.umin.jp>

事務局

東京皮膚科・形成外科 銀座院
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座3F

運営事務局

株式会社サンプラネット・メディカルコンベンション事業部
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル6F
TEL:03-5940-2614 FAX:03-3942-6396 E-mail:jsas111@sunpla-mcv.com

2022年
8月31日(水)
第034号

一般社団法人 日本美容外科学会
〒143-0023 東京都大田区山王3-37-13
e-mail: info@jasor.jp



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会
公式新聞

今月号の
主なお知らせ

新理事長就任のご挨拶
第110回日本美容外科学会
第111回日本美容外科学会

理事長就任のご挨拶

第110回日本美容外科学会後に行われた理事会において、理事長に選任され、就任致しました。本学会の活動は1966年梅澤文雄先生が日本美容整形学会を設立したことに始まります。1978年に日本美容外科学会(Japan Society of Aesthetic Surgery: JSAS)に改称され、1985年には梅澤文彦先生が理事長に就任され、さらに2017年に保志名勝先生が理事長を引き継がれて今日に至りました。日本における美容外科の歴史と発展のために、多大なる功績を残されてこられた諸先輩方の後任を仰せつかったことは大変光栄であると同時に、身の引き締まる思いです。

本学会の目的は、美容外科に関する研究並びに科学的知識および技術の普及発達と美容外科の学術上の地位の確立を図ることです。同時に、美容外科は人類の健康と幸福の増進を図る「幸福医学」であり、一党一派や人種、宗教、国籍などに偏ることなく健全な学会活動を行うことを原則としております。

本学会の会員数は2022年6月時点で1,330名、学会開催数が110回、学会機関誌も57巻を数えます。現在の私たちが取り巻く環境は、美容外科のみならず、美容皮膚科、美容内科などの多領域の分野から構成される、共に人類のQuality of Lifeを追求することを目的とした美容医療という大きな枠組みへと変化しており、毎年開催される本学会でも外科治療だけでなく、注入治療やEBD(Energy-Based Devices)などを用いた皮膚科治療、サプリメントや漢方などの内科治療など多領域にわたる講演や発表が行われています。

一方で、美容外科、美容皮膚科、美容内科を問わず美容医療に興味を持って美容クリニックに足を踏み入れる医師たちが着実に増加しており、それに伴い開業数も増加の一途を辿っています。

本学会は日々の美容医療の診療において、会員の皆さまにとって役に立つ重要な技術、知識、ノウハウ等を提供することを目指しています。そのためには一党一派を超えた幅広い交流や情報共有が重要であると考えています。会員の皆さまがより高いレベルで美容医療を実践すること、関連メーカーや関連会社の方々がより効果が高く機能性に優れた安全性の高い美容医療の材料や機器を提供して頂けること、そしてビジネスの手助けとなるノウハウを提供して頂けることで、美容医療を享受する人々がより高い幸福感を達成することができると信じています。

これからも美容外科をはじめとする美容医療が益々健全に発展して、多くの方々が安心して美容医療を受けることができるように会員、各社の皆さまと精進して参りますので、ご支援、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



日本美容外科学会(JSAS)
理事長 鎌倉達郎

第110回日本美容外科学会のお礼とご報告



共催企業様の展示ブース(まるで海外の学会のよう)

2022年5月27日～28日の2日間、虎ノ門のThe Okura Tokyoにおいて、第110回日本美容外科学会が無事に開催されました。今回の学会のテーマは、「美しい笑顔のための美容外科」でした。このテーマは、医師の不勉強による不幸な患者様を生み出さないという想いで考えたものですが、まさにこのテーマ通りに多数の医師が熱心に勉強していました。そのような勉強の機会を提供できたことを大変嬉しく思います。



開会のご挨拶

学会の会場決めやプログラムのことを考え始めたのは、3年前の2019年でした。いろいろな学会に参加して、どのような方にお話し頂きたいかを考え始めたのですが、そこにコロナ渦がやってきました。

様々な学会が中止や延期となってしまう、なかなか予定通りに進みませんでしたが、なんとか参加できた会ではしっかりと沢山の演者のお話を聞き、学会の内容を決めていきました。また、自身が講師として様々なクリニックにハンズオンセミナーに行っていたことも、新たな人材の発掘に役立ち、座長や演者をお願いする際にもそのときのご縁が活きたと思います。



1 日目ライブサージェリー座長 小川英朗先生

昨年の第 109 回日本美容外科学会の開催について学会理事で話し合ったときに、「美容外科では患者様のプライバシーを守るためにオンラインでの開催は行わない」ということになっていたのですが、現地開催で行くと最初から決めていましたが、緊急事態宣言が発令されたり、蔓延防止等重点措置が発令されたりということが度々あって、「学会の時にはコロナはどのような状態になっているのだろう？」と心配でありませんでした。ところが、学会が行われたときには、何の発令もされておらず、東京都のリバウンド警戒期間が 5 月 22 日に終わったばかりというラッキーな時期でした。

(皆さまに私は「持っている」と声をかけられました・・・笑笑)



ボトックスのシンポジウム



経営上手なクリニックのシンポジウムはこんなに立ち見が!!



経営上手なクリニック座長 居原田麗先生



ボトックスのシンポジウム シンポジストの先生方

久しぶりの女性学会長ということで、私に期待されているのは沢山の女性医師に会場に足を運んで頂くことだと思いました。そのため、プログラムの内容を大胆に変えて、美容皮膚科や美容内科のプログラムを増やし、経営に関するシンポジウムや女性器形成のシンポジウムや女医のキャリア形成のシンポジウムを設けました。私が聞きたい内容を盛り込んでいたら、ほとんど休憩時間の無いぎゅうぎゅう詰めのプログラムになってしまいました。でも、その内容の充実ぶりには私なりに自信がありましたので、きっと多数の来場者が見込めるとしていました。

それでも当日になるまでは本当に皆さまが来てくださるのか心配でしたが、過去最高の 1,483 人の方に来場して頂くことが出来ました。

多数の参加者が来てくださったことは嬉しかったのですが、今度は受付がパンク状態になって大渋滞が起きたり、会場が満席になって立ち見が会場の外まであふれてしまったり、「見たいシンポジウムを聴くことが出来なかった」というご意見も頂戴しました。



鼻についてのシンポジウムは W 座長 室孝明先生と衣笠哲雄先生



美容内科のシンポジウムは青木晃先生に座長をして頂きました



女性器形成だけのシンポジウムは本邦初です



高須克弥先生のご講演は大人気でした



高須克弥先生・保志名勝理事長と記念撮影



脂肪吸引・脂肪注入座長 長野寛史先生



2 日目のライブサージェリーは今泉明子先生のヒアルロン酸注入



女医のキャリア形成座長 小村十樹子先生



漢方について野本真由美先生にご講演頂きました

出展業者様が皆さま頑張ってくださいのおかげで、展示会場が非常に華やかになり、いつもの JSAS の展示会場とは全く違い「まるで海外の学会みたい」になりました。初めて展示会場に足を踏み入れたときは、感動して涙があふれてきました。このような盛会になったのは、ひとえにご協力頂いた企業様のおかげです。心より感謝をお伝えしたいと思います。

一番嬉しかったことは、学会が終わって沢山の先生方から「とっても勉強になりました」と言って頂いたことです。まさに私が思い描いたとおりの、「みんなで一所懸命に勉強して、不勉強による不幸な患者様を無くして患者様を笑顔にしましょう」



次回学会会長委嘱状授与式 池田欣生先生

という学会になったのではないかと思います。今回の学会を開催するにあたりましては、保志名勝前理事長はじめ諸先生方のご指導・ご協力の賜であり、誠に感謝いたします。また、学会運営スタッフの方々や、ご協力企業の皆さまにも深謝いたします。そして全てのご参加者の皆さまにも感謝申し上げます。人生で最も濃密な 2 日間を過ごすことが出来たのは、私を学会長に選出してくださった皆さまのおかげです。

本当にありがとうございました。

第 111 回日本美容外科学会ご案内

テーマ 美しい未来を創る美容外科 —先人から学び、未来へ繋げる—

第 111 回日本美容外科学会会長を務めさせて頂くことになりました東京皮膚科形成外科総院長の池田欣生です。開催に際し、日本美容外科学会前理事長の保志名勝先生をはじめ、学会員の皆さま、関係各位よりご指導ご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

本学会は 2023 年 5 月 11 日（木）・12 日（金）の 2 日間にわたり、グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）で開催いたします。会員の皆さまはもちろんのこと、未来に美容医療や関連ビジネスを目指す非会員の方々にも幅広くご参加いただきたいと思います。

今回のテーマは「美しい未来を創る美容外科 —先人から学び、未来へ繋げる—」です。美しい未来を創るためには過去の先人達の豊富な経験や知識を学ぶことも大切です。過去から現在、現在から美しい未来へ。教科書には載っていない様々な経験や知識を、先輩達から直接学んで頂ければと思います。

真崎先生、高田教授、そして理事の皆さまが美容医療に携わるすべての科が垣根を超えて集合するという JSAS の原点に立ち返った理念を掲げてご尽力された第 101 回日本美容外科学会から 10 年。その後初の大阪開催となり重責を感じておりますが、大阪観光も楽しんで頂ければと思います。

僕自身は白壁美容外科のご指導をされていた故田嶋定夫先生、十仁病院のご指導をされていた谷野隆三郎先生に研修医時代から可愛がって頂いたおかげで、最新の美容医療の勉強をさせて頂く機会と、海外の著名ドクター達と知り合う環境に恵まれました。そして故梅澤文彦先生のご支援のもと、ライブサージェリーで技術と経験を共有できる日本アンチエイジング外科学会と医療アートメイク学会を立ち上げています。

そのため今回の学会はライブサージェリーや動画を主体としたものとして、参加された皆さまがすぐに日々の診療に役立てることが出来る学会にしたいと考えています。今回の目玉として Plastic and reconstructive surgery を編纂されている Rohrich 先生と Stuzin 先生をアメリカからお招きして最新のアメリカの美容医療についてのご講演をお願いしています。お二人はベーカーゴードンシンポジウムも主催しておられるため、会員の皆さまがアメリカに美容医療の勉強をしに行くきっかけになれば幸いです。

皆さま、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

皆さま、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



第 111 回日本美容外科学会会長 池田欣生

日本美容外科学会事務局からのお知らせ

2022 年 5 月に実施した専門医認定試験の合格者は以下の 17 名です

- | | |
|-------------|-------|
| 石橋 正太 | 林 英明 |
| 川井 衛 | 山田 彰吾 |
| 松村 智文 | 石田 浩康 |
| 岩本 龍哉 | 田中 龍二 |
| 木下 将人 | 上條 広章 |
| 清水 脩介 | 山本 厚志 |
| 赤尾 健 | 藤巻 直人 |
| 小林 光 | 芝 容平 |
| モレロ オースティン誠 | |

(所属敬称略)